



## 保育の廣い視野

東京都民生局兒童課

秋田美子

何かしらまだ／＼落ちつかない敗戦後の社會的な混亂と一方、漸く平和日本の曙光がかすかながらも射し初めたという過渡的な矛盾を孕んだ様相を呈し乍ら去年は暮れて行つた。去年は、兒童文化、兒童問題と、チャーナリズムの上でもなか／＼華やかに喧傳され、社會の各層に亘つて何か一種の流行のようにすら思われる賑わいであつたが、妙なことに、警視廳や東京の兒童相談所等の調査によると、青少年犯罪及び不良行爲は（その中には保育の對象の幼兒すら含めて）上半期から下半期にかけて累増的な傾向を示し、しかも方法的にみても悲しむべき結果が出ているという。

大人の生活の姿が子供に影響し、日に増し迫りつゝある生活苦と、道義感の衰弱、誤まつた自由思想の行動化とは、重なり合いからみ合つた形で子供の生活面を強く大きく支配しようとしてある。物の豊かであることはその物を購う要求を満し得ない多くの子供にとつて幸いな條件ではない。又眞面

目な勤勞意欲をもたず一攫千金を夢みる考え方や、他人に迷惑をかけても己れの權利や自由を主張する者の輩出等は、子供の生活の中に深刻な影響を與え、健全性を日に増し失いゆく者の數を増してゐるのではあるまいか。美しい華やかな明るい兒童文化運動は、あちらにもこちらにもその聲が小さい乍ら擧げられてゐるが、その割にじみな困難な問題ととりくんでゆく實踐の徒は非常に稀であつて、かけ聲程に効果が擧がらず、又上調子のものが多かつたと考えるのは私の偏見であるうか。

だからこそ、子供達は折角のその呼び聲に背を向けて、汚濁の巷の中にさまよい眞の明るさと安らかさを次第に失い、「恐るべき子供達」の刻印を押されるようなコースを好んで辿るようになって了う。だが一體これをどうも止むを得ない大人が悪いんだから仕方がない、と云つて私達保育者は見送つてゐてよいものだろうか。社會全體の責任であり、大人の罪であり政治の責任であり、小さい私達の力でどんなにあげても無駄な事だとあきらめるべきであるうか。

では反對にこういう子供の傾向を阻止する力をもつものは段階的に云つて誰々であるかと反問してみることしよう。

私はその第一番の者として何と云つても両親をあげたい。之は當然であり常識であつて珍らしい答えではない。次で教師と保育者がその力をもつと云つてよいと思う。そこで私達保育者がどんなに良心的に犠牲的に園内でその愛する幼児のために萬全の保育を施こしても、その幼児の背後にある家庭とその幼児の生活範圍となる社會的環境に對してもその手が伸ばされなければ、その効果は半減否寧ろ時をかせば全く無に歸するやうな結果が生じて了うという事を心に銘記したい。特にその家庭の両親保護者に迄私達の希うところの保育の効果が熟知實現せられているのでなくては私達はよい保育をしているという事は出来ないであらう。不良と名づけられ悲しくも世間一般から喜ばれない兒童の六五―七〇パーセントが両親の揃つていゝものであり、事大主義的に騒がれる繼父母等の關係に比率的にその數が餘り多くない事實からみても、家庭教育即ち両親の言動の如何がこの子供達を産み出し又反對の現象をも促すものである事を斷言してよいと思ふ。この両親に對して私達は色々の手を打つ必要があるが、先程述べたやうに兒童の大切な環境の場としての學校幼稚園保育所等に於ける教師と保育者の言動が云々される事は特に重視

されるべきことである。即ち私達が口に保育を云々する以前に先づ日々の自らの言動を反省し常に純粹な汚れない態度で子供に向きあう用意が出来てゐるかどうか、又同僚その他の人的なつながりがかもしだす弊園氣についても同様であるかを充分に考えてみたい。この用意の上に立つ良き保育は又家庭と直結しなければならぬ。園の保育教育の一元的な在りやうを期さなければならぬ。學校についても教師と保護者の結びつきは同様の姿でなければならぬ。富める者貧しい者、教養のある者、教養のない者、時間的餘裕のある者、ない者、その他色々の條件の差はあるが、明るい健康な家庭教育がなされるやう幼児を通じての家庭教育の指導が強力に行われなければならぬ。そして家庭内の兒童全體に良き家庭教育直が行われるならば、前述のような問題も次第に減少してゆくに違いない。家庭教育指導いゝかえれば両親教育の方法についてこゝに詳述する餘裕はないが、調査、連絡、訪問、會合等凡ゆる手段をその効果を擧げうるやう十二分に活用してその父母への接觸を試み、保育の眞髓を家庭にしつかりと納得させて行く必要がある。

### 三

私は現在こそ両親教育の最も緊要な時期であると云いたい。吾々の子への指導性教育性を喪失しつつある家庭がどんなに多いかは新聞その他の報道機關を通じ、嫌という程見聞させら

れている。家庭の放任によつて不良行爲を行つた児童は、全體の動機の一〇パーセント近くを占めてゐることからしても現在の両親が如何に吾が子に對してゐるかの一面をみる事が出来る。殊に生活苦に直面しつゝある家庭、没落の途を逆りつゝある庭においてその傾向は強い。このような家庭は現在の社會情勢からみるならば決して容易に減少してゆく可能性は少ない。だからこそ、今こそ保育者は兩親教育によい子供を護つてゆく必要があるのだといふたい。例へ理想的な良き家庭教育をその子女に對して行うことに出来る家庭であつても、周圍一體がそうでなかつたらその子供を安全に護りうるとは斷言出来ない。

「私達は自由なのだ」「男女同權ですからね」「子供にだつて權利はあるわ」「大人だつてやつてゐるんだから」恐ろしくうわづつた權利の濫用は大人の誤まつた面をみならつて、若氣の故に最も尖端をゆく危険をも犯して了う。強い刺戟である程面白がる。このような児童は健全でない家庭の中から多く出る。健全でない家庭は不健全な社會を形作つてゆく。不健全な社會が又健全でない児童を産み出す。鶏と卵のような關係がグル／＼くり返される度に問題が擴がる。私達は、保育者は、どうしてもこの不健全性と闘う手を打たなければならぬ。私達はほんとうに自分に託された幼児を愛するなら敢然と起たなければならぬ。何故ならこれをおいては私達の仕事は砂上の樓閣を築くにも等しい結果になつてしまふからである。子供達を保育することの効果をより確かにする

ため幼稚園や保育所に託された幼児の家庭は勿論、その附近の健全化のためにも良き協力者であり指導者となつてゆく必要がある。そのためには縦にも横にも連けいが必要となる。即ち他の幼稚園や保育所との提携は勿、論學校その他凡ゆる社會教育や児童のための機關とのつながりによつて効果を擧げて行くようにしたい。

#### 四

このように考へて來ると學童の問題も青少年不良化の問題も、保育問題の一環として考へられるのではあるまいか。

兩親教育と並行して必要な事は児童の社會教育に關するもの子供クラブ、子供の遊び場、兒童館、兒童映畫、兒童讀物等についても一通りの概念と批判力をもつ保育者であることだ。現に多忙な己れの僅かな餘暇を割いてこのような仕事や運動に奉仕される保育者もないわけではない。かくて園に於ける保育とその幼児の家庭に對する兩親教育と、その家庭の在る地域社會に對する働きかけと、三つを兼ね行いいうるといふよりも三者を巧みに調和させた立體的保育を行いうる人になることこそ、眞の保育者の名に價するものではないであらうか。